

ミカルディス錠 20mg
 ミカルディス錠 40mg
 ミカルディス錠 80mg

【この薬は？】

販売名	ミカルディス錠 20mg Micardis Tablets 20mg	ミカルディス錠 40mg Micardis Tablets 40mg	ミカルディス錠 80mg Micardis Tablets 80mg
一般名	テルミサルタン Telmisartan		
含有量 (1錠中)	テルミサルタン 20mg	テルミサルタン 40mg	テルミサルタン 80mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働

きを抑えることで血圧を下げます。

- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にミカルディス錠に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・胆汁の分泌が極めて悪い人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・アリスキレンフマル酸塩を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・両側性腎動脈狭窄のある人または片腎で腎動脈狭窄のある人
- ・高カリウム血症のある人
- ・脳血管に障害がある人
- ・厳重な減塩治療中の人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・血液透析中の人
- ・肝臓に障害がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ミカルディス錠 20mg	ミカルディス錠 40mg	ミカルディス錠 80mg
一回量	40mg		
使用回数	1日1回		

1日20mgから使用を開始し、徐々に増量されます。1回80mgまで増量されることがあります。

肝臓に障害がある人は、1回40mgを超えない量で医師が決めます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

低血圧（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失）、めまい、頻脈（動悸、胸の不快感、脈が速くなる、めまい、気を失う）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・肝炎などの重篤な肝障害があらわれたとの報告があるので、血液検査がおこなわれることがあります。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。
特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
腎機能障害	尿量が減る、むくみ、体がだるい










じんきのうしょうがい	
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息苦しい、息切れ、発熱
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体のしびれ、体に力が入らない、むくみ、体がだるい、冷汗が出る、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる、けいれん、ふらつき、脱力感、発熱
頭部	めまい、意識の消失、短時間、意識を失い倒れる、意識の低下
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、顔面蒼白（そうはく）、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、喉のかゆみ、吐き気、嘔吐、咳
胸部	息苦しい、息切れ、動悸、息苦しい
腹部	お腹が張る、食欲不振、お腹がすく、
手・足	手足が冷たくなる、手足のしびれ、手足のふるえ、手足のこわばり
皮膚	皮膚が黄色くなる、全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる

便	下痢
---	----

【この薬の形は？】

販売名	ミカルディス錠 20mg	ミカルディス錠 40mg	ミカルディス錠 80mg
PTPシート			
形状		割線入りの錠剤 	割線入りのフィルムコート錠 
直径	6 mm	8 mm	10 mm
厚さ	2.5 mm	2.8 mm	4.4 mm
重さ	0.085 g	0.170 g	0.345 g
色	白色～微黄色	白色～微黄色	白色
識別コード	 50H	 51H	 52H

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ミカルディス錠 20mg	ミカルディス錠 40mg	ミカルディス錠 80mg
有効成分	テルミサルタン		
添加剤	軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、メグルミン、ポリオキシエチレン(160)ポリオキシプロピレン(30)グリコール、エリスリトール		軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、メグルミン、ポリオキシエチレン(160)ポリオキシプロピレン(30)グリコール、D-マンニトール、ヒプロメロース、マクロゴール6000、タルク、酸化チタン

【その他】

- この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
(<http://www.boehringer-ingenelheim.co.jp/>)
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
D I センター
電話：0120-189-779
<受付時間>9：00～18：00
(土・日・祝日・会社休業日を除く)